

公益財団法人長寿科学振興財団
令和 6 年度長寿科学研究者支援事業「長生きを喜べる長寿社会実現研究支援」
公募説明会質疑応答議事録（6 月 8 日開催分）

事前質問回答

質問 1 :

A 探索研究のプロジェクト提案書を作成中です。提案書様式 1 の「2. プロジェクトで達成する目標 ※目標とは D: 展開を目指すものであり A: 探索研究、B: 実装研究の目標ではありません。」と記載されています。A 探索研究の場合、2. は記載する必要はないのでしょうか？ご教示頂けると幸いです。

回答 1 :

今回の公募ではどの分類から応募いただいても、社会実装し全国展開できるプロジェクトを採択します。各分類のみで完結する提案は受付けていません。そのため、A: 探索研究の提案であっても、2. は記載する必要があります。

質問 2 :

既に稼働している高齢者支援システムは、複数の研究費より構築してきました。新たな問題点やチャット GPT などの革新的技術が公開され、これらの解決や活用を行うことで、高齢者の健康管理を自動化してサポート可能なシステムに改修することを提案する予定です。他財団との開発研究費を差別化あるいは単独の支援で開発することは困難です。複数の研究助成があった場合に、主たる開発目的が異なっていれば、基本となるシステムが共通であっても応募可能でしょうか？

回答 2 :

可能です。

当財団以外からの研究助成がある場合は、提案様式 1 のプロジェクト計画書の 5.Revenue や、様式 3-2 資金導入計画書の他制度等からの助成情報を記載ください。

質問 3 :

自治体で申請することを想定していますが、プロジェクトチームは、研究実績のある保健所長を提案者としたうえで、保健所内の組織横断的な体制で基準を満たしますか？それとも外部の組織との連携なども求められますか？

回答 3 :

提案者やプロジェクトチームの要件については「5. 応募要件」に記載のとおりです。

なお、公募要領 11 ページに記載のとおり 3 つの審査・選定の観点を検討して審査・選定します。

質問 4 :

高齢者の健康推進に繋がる高齢者を多く含む事業でも対象になりえますでしょうか？（つまり、高齢者以外も対象群に含まれる事業）

回答 4 :

本事業は主課題を実現するための課題解決となるものであれば、提案の内容を制限するものではありません。

せん。提案については以下を意識してください。①社会的インパクトがある②持続可能かつ実効性がある③学際的である

質問 5 :

地方公務員も応募できますか？

回答 5 :

はい、可能です。「5.応募要件」の提案者の欄に記載している要件を満たしてください。

質問 6 :

提案者の③は、研究ではなく社会課題解決のための事業の実績のみでもよいですか。

回答 6 :

はい、良いです。

質問 7 :

自助力と互助力を向上させるための対話型 AI システムを開発しています。今回の公募対象にこのようなソフトウェアが対象になるでしょうか？宜しく願います。

回答 7 :

本事業は主課題を実現するための課題解決となるものであれば、提案の内容を制限するものではありません。提案については以下を意識してください。①社会的インパクトがある②持続可能かつ実効性がある③学際的である

質疑応答分(6月8日)

質問 1 :

これまで、採択された案件と似通った事業内容であっても申請可能でしょうか？

回答 1 :

はい、可能です。

質問 2 :

今、当方の活動状況はこんな状況です、と相談して、4つのプロジェクト段階のどれにハマるか、相談可能でしょうか？

回答 2 :

提案するプロジェクトの内容やどの分類から提案するのが良いかについて当財団から助言することは差し控えさせていただきます。ご提案いただくプロジェクトの状況が以下の4つの分類(AからD)の目的のどれに合致するか、また提案いただくプロジェクトの目標の達成から逆算してプロジェクトを始めるのに最適な分類を選択ください。

A : 探索研究 = 課題解決方法のアイデアの実現性・実用化・事業化が可能かどうか検証を目的とする

B : 実装研究 = 開発された課題解決方法を実験的に実装・検証を進め、事業化の確立および本事業

展開を見据えて準備を進めることを目的とする

C：社会実装＝事業を本格的に進め、持続可能な仕組みの確立を目的とする

D：展開＝持続可能な事業の仕組みが確立し、全国展開・新規事業創出につながることを目的とする

質問 3：

間接経費は計上せず、すべて直接経費にすることは可能ですか？

回答 3：

はい、可能です。間接経費はプロジェクト経費に対して上限 30%まで計上できるとしておりますが、間接経費を計上することを必須としておりません。

質問 4：

特定地域での高齢者の移動課題解決について申請の場合、特定地域での取り組みを A から C、全国展開・海外展開を D、という認識で良いでしょうか？

回答 4：

はい、そのご認識で良いです。

質問 5：

実装研究に探索研究が含まれる場合、A 探索研究を申請したのち B 実装研究を申請した方が妥当でしょうか

回答 5：

プロジェクトの目標の達成から逆算してプロジェクトを始めるのに最適な分類（A から D）を選択ください。既存の課題解決方法に新たな価値を加えて実用可能か検証を目的にする段階であれば A：探索研究、既存の課題解決を利用して実装・検証をすすめ事業化の確立および事業展開を見据えて準備を進めることを目的とする場合は B：実装研究です。

質問 6：

賃金として、プロジェクトに従事した者の人件費を支出可能とのことですが、プロジェクトリーダー自身の賃金を支出することは可能ですか？

回答 6：

はい、可能です。

質問 7：

過去採用になったプロジェクトの事例を拝見することができますか？

回答 7：

財団ホームページにて過去採択したプロジェクトの概要をご覧ください。

- [令和 4 年度 長生きを喜べる長寿社会実現研究支援 採択プロジェクトについて | 公益財団法人 長寿科学振興財団 \(tyojyu.or.jp\)](#)
- [令和 5 年度 長生きを喜べる長寿社会実現研究支援 採択プロジェクトについて | 公益財団法人](#)

質問 8 :

採択された場合、申請額の満額を助成いただけますか？

回答 8 :

最終審査で採択が内定したのち、助成金交付契約にて助成額を決定いたします。

質問 9 :

研究が進展し、C 期間に入ったタイミング等で共同プロジェクトグループを事後的に追加することが出来ますか？

回答 9 :

はい、可能です。プロジェクトが進行する過程で、目標達成のために必要に応じて人材やチーム編成を適宜変更することは可能です。

質問 10 :

研究倫理教育プログラム修了は 7 月 31 迄に修了ということですか？

回答 10 :

提案書提出までに研究倫理教育の履修が望ましいです。しかし、提案書提出までに履修が難しい場合は提案様式 4 6.プロジェクト体制を構成する者の情報の「研究倫理教育に関するプログラムの受講・修了について」の欄に、受講・修了の予定について記載いただきますようお願いいたします。

質問 11 :

一機関あたりの応募の制限はありますか？複数名の申請は可能ですか？

回答 11 :

はい、可能です。なお、一人の提案者が 2 つ以上の提案書を提出した場合は提案の無効にあたりますので、ご注意ください。

質問 12 :

成果物としては物理的なシステムやアプリケーションを想定していますでしょうか？地域内の枠組みのようなものでもよろしいでしょうか？

回答 12 :

対象者の問題やニーズを、実用的に解決・満たすものであれば、その解決方法の種別に制限等は設けておりません。